

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	状態が重度化した場合、現時点では特別養護老人ホームなどの転入という選択肢しかない。住み慣れた環境の中で、可能な限り生活を送ってもらいたいのだが、技術や制度などが整っていない。	ある程度、医療が必要な状態になっても、ホームでの生活を送ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 必要なスキルを身につけた職員を配置する。 事業所として、受け入れができるように各所に届け出を出す。 	6ヶ月
2	49	外出自体はあるのだが、現状では散歩だけになってしまっている。他にも目的をもって、外に出るのが楽しくなるような働きかけをしていきたい。	こちらから外出を促すだけでなく、入居者自らが外出の希望を訴えてくれるような環境を築くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ホーム周辺の地域資源について、活用できそうなものはないか、もう一度調べてみる。 近所に買い物ができる場所が出来るようなので、買い物を楽しんでもらえるよう働きかける。 	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。